

三嶋神社（平塚市） 平塚市夕陽ヶ丘 60-27

創建時期不明。平安時代の別当寺長楽寺の古文書に「薬師、三嶋明神の本地仏なり」の記録がある。永禄9年（1566年）には小田原北条氏の保護を受け、江戸時代には、伊豆、安房の住人を始め、海路の大山詣では平塚須賀港で上陸すると、当神社に道中安全を祈願する習わしであったという（平塚三嶋神社由緒書より）。御祭神は大山祇命（おおやまづみのみこと）であらゆる「厄災」を退け、心身健康・病氣治癒など身体健全のご神徳、事代主大神（ことしろぬしのおおかみ）は別名「えびす様」で親しまれ、「大きな鯛」を抱かれた福德円満のお姿が癒しを与えてくれる。



道路からすぐに1の鳥居



参道途中に弁天社がある



ご神木のクスノキ



二の鳥居



鳥居を超えると狛犬が



本殿



本殿の中だがご祭神は見えず



扁額と彫刻



恵比寿様が目立つ



疫神社と茅の輪



伊邪那岐社(いざなぎしゃ)